

モーツァルト室内管弦楽団

第149回定期演奏会

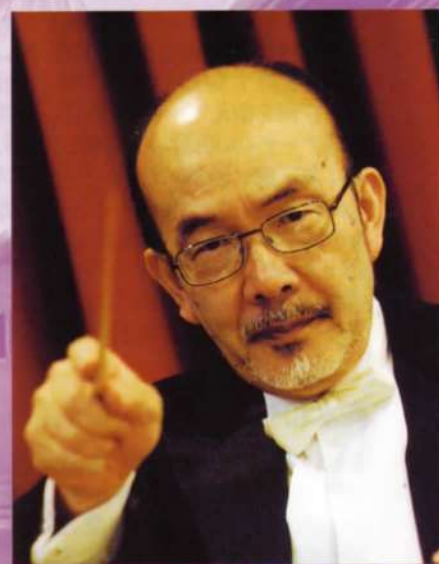
《ベートーヴェン・シリーズ》その2

ベートーヴェン◆歌劇《フィデリオ》Op.72 序曲
ベートーヴェン◆ヴァイオリン協奏曲 二長調 Op.61
ベートーヴェン◆交響曲 第6番 へ長調 Op.68 《田園》



ヴァイオリン: 高木和弘

L.v. Beethoven



指揮: 門 良一

*開演の10分前より指揮者 門 良一による
プレトークがあります。

*Ryoichi Kado &
Kazuhiro Takagi
mit dem Mozart-Kammerorchester*



モーツァルト室内管弦楽団

2012. 9 / 9 (日)

2:00pm開演 (1:30pm開場)

いずみホール

入場料: 一般 ¥5,000 (指定席) / 学生 ¥1,000 (当日限定販売)

*小学生よりご入場いただけます。

JR環状線「大阪城公園」駅から徒歩3分、「京橋」駅から徒歩7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から徒歩5分。
有料駐車場完備

主催◆モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.hi-ho.ne.jp/mozart/> 協賛◆いずみホール [財団法人 住友生命社会福祉事業団]

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL.06-6135-0503 FAX.06-6135-0504 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-5-25-909

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645 (電話受付: 平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188 **チケットぴあ** 0570-02-9999 (Pコード: 167-773)
ローソンチケット 0570-084-005 (Lコード: 59358)

*当日会場では大阪ユニセフ協会を通じて東日本大震災被災地の子どもたちのための募金活動を行います。



L.v. Beethoven

門 良一／モーツァルト室内管弦楽団による 〈ベートーヴェン・シリーズ〉、大好評！

昨年、門 良一／モーツァルト室内管弦楽団が満を持して開始した〈ベートーヴェン・シリーズ〉の第1回は大好評を得ました。このコンビが得意とするモーツァルト、ハイドンの延長上にある古典美あふれるベートーヴェン、そしてまたこのコンビの新しいレパートリーである前期ロマン派につながるロマンに満ちたベートーヴェン、この両者をあわせ持った魅力的な新しいベートーヴェンの演奏が実現しています。今回は大阪が生んだトップ・アーティスト、高木和弘氏の出演も聴きものです。

モーツァルト室内管弦楽団／指揮・門 良一 Mozart-kammerorchester / Ryoichi Kado, Dirigent

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、40年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドン、ベートーヴェンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。'91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで'90年からは大阪いずみホールを本拠に年6回の定期演奏会を開催し、また'74年からは東京定期演奏会を開催し、既に17回を数えている。海外では'88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス('85、'87年)、シブリアン・カツァリス('93、'94年)、ペーター・ダム('83、'86、'88、'98、'00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル('86年)、ライナー・キュッヒル('90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。'91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲などで活発に協演するほか、'93年には堺シティオペラとの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。'06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。2007～9年には全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、2009年～11年には全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また2010年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を開始している。

高木和弘(ヴァイオリン) Kazuhiro Takagi, Violin

大阪に生まれる。これまでに和孝孝禧、森悠子、エドワード・ウルフソン、エドワード・シュミダーの各氏に師事。6歳よりヴァイオリンを始め、国内で数々のコンクールに優勝及び入賞を果たし、大阪で最も古い歴史と伝統を誇る大阪府立北野高等学校を卒業後渡仏。リヨン高等音楽院に学び、1994年に首席で卒業。1995年渡米し南メソジスト大学に学ぶ。その後も2000年より文化庁派遣芸術家在外研修員としてシカゴのルーズベルト大学に在学。主な賞歴としては1997年度ブリュッセルで行われたエリザベト王妃国際コンクール入賞、1998年ジュネーヴ国際コンクール第3位(1位なし)、2001年アメリカインディアナ州で行われたフィッシュ室内楽コンクールにてユーシア弦楽四重奏団の第一ヴァイオリン奏者として第一位などが挙げられる。国内では、2005年度文化庁芸術祭新人賞、大阪文化祭大賞受賞、2007年度第19回ミュージック・ベンクラブ音楽賞オーディオ部門録音作品賞を受賞と、その芸術家としての認知と評価も非常に高い。近年は音楽のジャンルの壁を飛び越えての活動もめざましく、DJ YOKU率いるクラブ系サルソウルオーケストラ、A Hundred Birdsのヴァイオリン奏者として、またヒップホップのキーボーディスト、タケウチカズタケ氏とのユニットtokyo.pandaのヴァイオリンとしてもシーンを沸かせている。FUKUOKA LOVE & COLLECTIONやBANANA REPUBLICのショー等、ファッションショーでの出演も数多い。国内外のオーケストラとのソリストとしてもこれまで大阪フィルハーモニー、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー、日本センチュリー交響楽団、東京交響楽団、ベトナム国立響、ヴェルテンベルグ・フィルハーモニーなどとの共演も多数ある。コンサートマスターとしてもダニエル・バレンボイム率いるシヴィック・オーケストラ・オブ・シカゴのコンサートマスター、ドイツのヴェルテンベルグ・フィルハーモニーの首席コンサートマスターを経て、現在は国内の様々なオーケストラから多くの出演の依頼がある。室内合奏の分野においても恩師森悠子女史率いる長岡京室内アンサンブルでの経験を活かし、リリス・チェンバー・オーケストラのリーダーとしても活動を展開中である。近年、日本で最高権威を誇る日本音楽コンクールの審査員としても度々招かれている。現在、東京交響楽団コンサートマスター、山形交響楽団特別首席コンサートマスター、長岡京室内アンサンブルメンバー、いずみシンフォニエッタ大阪メンバー、リリス・チェンバー・オーケストラのリーダー、A Hundred Birds, tokyo.pandaのヴァイオリニストとして演奏活動を展開中。門 良一指揮のモーツァルト室内管弦楽団とは過去3回、いずれも〈高木和弘・ヴァイオリン協奏曲の夕べ〉の名のもとに協演している：第1回(1998年／モーツァルト第3番、メンデルスゾーン)、第2回(1999年／バガニニ第1番、サン＝サーンス第3番)、第3回(2002年／パッハ第1番、ヴィヴァルディ《四季》全曲、ほか)。

門良一／モーツァルト室内管弦楽団 CD・DVD好評発売中!

－創立第1回定期演奏会のプログラム再現－

第136回定期演奏会ライブ収録

(2010年7月11日いずみホール)2枚組¥2000

モーツァルト 交響曲第29番

モーツァルト ヴァイオリン協奏曲第3番(Vn: 登山かおり)

モーツァルト 《ポストホルン・セレナーデ》

－ベートーヴェン・シリーズ 第1回－

第142回定期演奏会ライブ収録

(2011年7月9日いずみホール)2枚組¥2000

ベートーヴェン 《コロラン》序曲

ベートーヴェン ピアノ協奏曲第3番(Pf: 内田裕子)

ベートーヴェン 交響曲第4番

－《イドメネオ》(世界初オリジナル・ノーカット版)日本語字幕付き－

第115回定期演奏会ライブ録画

(2006年1月9日いずみホール)2枚組¥3000

モーツァルト オペラ《イドメネオ》

畑 儀文(イドメネオ) 野間直子(イダマンテ) 石橋栄実(イリア)

津山和代(エレットラ) 二塚直紀(アルバーチェ)他

合唱: モーツァルト記念合唱団(指揮:益子 務)

他に定期公演ライブCD・オペラDVD(日本語字幕付き)などが絶賛発売中!!